

## S1 補助循環装置研修

### 大動脈内バルーンポンピング (IABP)

目的；S1 終了時点で、指導医の指導の下で、IABP が透視下で挿入でき、その後の管理ができる。

	S1	研修内容	目標	目標経験数	評価
Step1	4～10月	装置の理解・挿入 介助・循環管理	IABP の原理、効果、合併症を理解・説明できる。 外回りで IABP 挿入の流れを理解、挿入介助ができる。 指導医の指導の下、IABP 留置症例の循環管理を挿入～ 離脱まで行える。	8 例	指導医が行う
Step2	11月～	挿入・循環管理	指導医の指導の下、穿刺・IABP 挿入・留置を行うこと ができる。	3 例以上	指導医が行う

### 体外膜型人工肺（ECMO）

目的；S1 終了時点で、指導医の指導の下で、ECMO 挿入患者の循環・呼吸管理を理解する。

	S1	研修内容	目標	目標経験数	評価
Step1	4月～	装置の理解・挿入 介助・循環管理・ 合併症対策	ECMO の原理、効果、合併症を理解・説明できる。 外回りで ECMO 挿入の流れを理解、挿入介助ができる。 指導医の指導の下、ECMO 留置症例の循環管理を 挿入～離脱まで理解する。	3例	指導医が行う

### インペラ（Impella）

目的；S1 終了時点で、指導医の指導の下で、Impella 挿入患者の循環・呼吸管理を理解する。

	S1	研修内容	目標	目標経験数	評価
Step1	4月～	装置の理解・挿入 介助・循環管理・ 合併症対策	Impella の原理、効果、合併症を理解・説明できる。 外回りで ECMO 挿入の流れを理解、挿入介助ができる。 指導医の指導の下、Impella 留置症例の循環管理を 挿入～離脱まで理解する。	3例	指導医が行う